



予選レポート

2020/12/5 Rd-5 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：15℃ 出走台数：20台

COVID-19 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、スケジュールを大幅変更して8月末
によようやく開幕した2020シーズンも、いよいよ後半戦。

本来既にシーズン終了している12月の開催となる鈴鹿戦は、5日（土）に第5戦、6日
（日）に第6戦の2連戦で開催される。

2グループ制で行われるノックアウト第1予選。

A組 山本選手は、開始すぐにユーズドタイヤを履いてコースイン。車両の感触を掴み、
予選残り2分半のタイミングでコースイン。慎重にタイヤを温め、2周目にアタックを行
う。昨日からの好調を維持しまずはトップ通過で第2予選へ。

B組 福住選手も同様にユーズドタイヤでチェックランを行い、残り3分でコースイン。
落ち着いたアタックで、こちらもB組トップ通過で第2予選へ進む。

10分のインターバルを経て迎えた第2予選。

山本選手は、ライバルより早目の残り7分でコースインし、クリアラップで1分35秒0
を叩き出し暫定首位に。福住選手はユーズドタイヤでセット確認を行ったうえで、ニュー
タイヤに交換しアタックへ。路面の変化か、ややバランスを欠き7番手となり、山本選手
首位、福住選手7位で第3予選へ進む。

トップ8を決める第3予選。山本選手は2セットのニュータイヤを使って2度のタイム
アタックを行うプラン。1セット目で1分34秒台を記録して暫定首位に。2セット目で
さらにタイムを削り、1分34秒533を記録。すべてのセッションで1位を記録し堂々ポ
ールポジションを獲得した。

福住選手は山本選手のセットアップを取り入れて、残り3分でアタックへ。山本選手に肉
迫するタイムを記録し、3位で予選を終えた。

5：山本選手 予選1位（第1予選A組1位 第2予選1位 第3予選1位）HONDA 勢1位

走り始めからとても感触良く、アタック毎にしっかりと進められました。素晴らしい車
を作ってくれたチームに感謝しています。といっても、2位以下とは非常に僅差ですし、決
勝はまた別物なので、チームとしっかりと戦略を練って臨みます。

6：福住選手 予選3位（第1予選B組1位 第2予選7位 第3予選3位）HONDA 勢3位

昨日から調子は良くありませんでしたが、気持ちを切り替えて予選に臨みました。山本選
手のセットアップを参考にできたのもとてもよかったです。予選3位となり自分としては
ホッとしている部分もありますが、山本選手とのタイム差も大きくまだまだ攻める部分
がありますね。決勝は山本選手とダブル表彰台で終えたいです。



決勝レポート

2020/12/5 Rd-5 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：16℃ 出走台数：20台

2020年後半戦 第5戦及び第6戦 鈴鹿サーキットの1戦目は、セーフティーカーが度々導入される荒れた決勝戦となった。

2周のフォーメーションラップに向かった全車だったが、このフォーメーションラップ中にストップ車両が発生。回収のためにさらに2周のフォーメーションラップが追加され、28周のレースとなる。ポールポジションスタートの山本選手と3番手スタートの福住選手は、共にしっかりとスタートを決めて1-2態勢でオープニングラップを周回。だが、その後ろではコースオフ車両が発生し、セーフティーカーが導入される。6周目にレースが再開されると、山本選手はファステストラップを更新しながら後続を引き離す。チームはピットストップウィンドウの開く10周目、福住選手にピットイン指示したその時、福住選手にトラブルが発生し突如スローダウン。ピットに戻ることはできたが、そのままリタイアとなってしまった。

山本選手は、18周を終えたところでピットイン、タイヤ交換を済ませて首位キープでコースへ戻る。その直後に130Rでクラッシュが発生し、2度目のセーフティーカーが導入される。レースは23周目にリスタート。山本選手はレースをコントロールし首位を維持するが、今度は1コーナーで多重クラッシュが発生し、3度目のセーフティーカーが導入された。レースが再開されたのは、残り2周となった27周目。山本選手は2周の超スプリントレースを危なげなく制し、ポール to ウィンの完全勝利でレースを終えた。

5：山本選手 1位

荒れたレースでしたが、最後まで集中してしっかり走り切ることが出来ました。チームが頑張っている車と戦略で支えてくれました。本当に感謝しています。

残念なのは、福住選手のリタイアです。ワンツーフィニッシュしたかったし、できる力もあったと思います。明日はまた明日のレースが展開されると思いますので、状況に合わせて集中して頑張ります。

6：福住選手 リタイア

山本選手とワンツー態勢で順調に走行していました。レースの混乱もしっかりと対応して戦略通りに進めていましたが、ギア制御系のトラブルでリタイアとなってしまいました。非常に悔しいですし、チーム初のワンツーフィニッシュやチームタイトルを考えると残念な結果です。ただ、好調なのは間違いないですし、山本選手との情報共有もして、明日の第6戦は僕が優勝できるよう、気持ちも切り替えて臨みます。